

令和7年度 第1回 大田区SDGs推進会議

－事務局資料－

1 SDGs推進に向けた区の実取組

令和6年度の振り返り及び令和7年度の方角性

令和6年度

<個人向けの取組>

- ワークショップの実施
5回(1回は東京都と連携)実施し、計850名が参加
- SDGsパンフレットの作成
一般向け、こども向けの2種類を作成

<事業者向けの取組>

- SDGsおおたスカイパートナー制度を開始
SDGsおおたスカイパートナーとして98事業者を認定

令和7年度

<個人向けの取組>

- ワークショップの実施
2回程度実施予定
- デジタルサイネージによる発信
 - ・蒲田駅西口商店街のデジタルサイネージにてSDGsパンフレットの内容等を配信
 - ・本庁舎デジタル庁舎案内モニターを活用したPR

<事業者向けの取組>

- SDGsおおたゴールドスカイパートナー制度を開始
 - ・第2期SDGsおおたスカイパートナーとして27事業者を認定
 - ・SDGsおおたゴールドスカイパートナーとして47事業者を認定
 - ・第3期SDGsおおたスカイパートナー・第2期SDGsおおたゴールドスカイパートナーを募集予定
- 認定事業者向けのイベントを実施予定
認定事業者同士が交流できるようなイベントを実施予定

1 SDGs推進に向けた区の実組



SDGs推進に向けた主な取組(経済・社会)

◆ 産業のまち未来基金の創設・大田区ものづくり等人材確保のための奨学金返還支援事業

産業のまち未来基金

産業のまち未来基金

✓ 区内中小企業の経営基盤を支え、区内産業集積の維持・発展を図る

あなたの寄附で **産業のまち活性化**♪

～「産業のまち未来基金」へのご寄附をお待ちしております～

未来を担う人材確保に…

区の魅力発信や維持に…

変革・成長する企業支援に…

★産業支援・魅力づくり等に活用させていただきます★

個人の方は↓

ふるさと納税制度の対象となります。2,000円を超える金額の寄附をし、必要な手続きを行っていただくことで、住民税の寄附金税額控除の適用を受けることができます。

区民の方への返礼品はありませんのでご注意ください。

法人・企業の方は↓

寄附を行うと、その金額を損金算入することが可能です。また、企業PRやイメージアップ、SDGs寄附につながる可能性もあります。

なお、大田区は「企業版ふるさと納税」の適用外団体であるため、税額控除の対象ではありません。

寄附方法

- ふるさと納税ポータルサイト（個人のみ）
- 区専用納付書による金融機関での納付
- 窓口での現金納付
- 現金書留による納付

※②～④は事前にご連絡またはお手続きをお願いします。

詳しくはこちらの動画をチェックしてみてください。

お問合せ先：大田区産業振興課産業振興担当（管理） 03-5744-1363

原資にして

大田区ものづくり等人材確保のための奨学金返還支援事業

令和7年4月1日以降
区内中小製造業
運輸業・建設業の
企業(事業所)に就業

+

奨学金返還
大田区居住
(40歳未満)

→

奨学金返還額の
半額を助成
(上限10万円/年 5年間分)

- ✓ 人材確保が厳しい区内中小企業の採用を支援
- ✓ 区内在住・在勤する若年層の経済的負担を軽減

<求職者・就業者の方>
大田区ものづくり等人材確保のための奨学金返還支援
申請受付開始

大田区内の企業で働く人を応援!!

区内の中小製造業・運輸業・建設業に新たに就職した方に対して
(令和7年4月1日以降に入社した方)

奨学金返還額の半額
(上限10万円/年)を
最長5年間分(60か月分)50万円まで
支援します!

(支給金の交付は、令和8年4月以降となります。)

以下のすべての条件を満たす方が対象になります
詳細については、公募要領等を必ずご確認ください

支援を受けられる方	対象企業(事業所)とは
<ul style="list-style-type: none"> ■ 令和7年度より申請受付開始 ■ 大田区に所在している方 ■ 令和7年4月1日以降に、新たに就職した方 ■ 正社員として採用され、継続して就業している方 ■ 対象奨学金に該当している方(令和7年度分) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 区内企業(事業所)に属する中小企業(従業員300名以下、または従業員300名以下の法人、個人事業主は対象外) ■ 区内企業(事業所)に属する大企業(従業員300名以上の法人、個人事業主は対象外) ■ 建設業(大田区に所在する建設業)に属する企業(事業所)に属する大企業(従業員300名以上の法人、個人事業主は対象外)

HICityにおける実証実験の支援

✓ HICityで実証実験を行った企業等が区内へ実証実験を展開する際、一部費用・調整等を支援

魅力発信事業の支援

✓ 公共浴場における施設改善費用の一部を助成

SDGs推進に向けた主な取組(経済・社会)

◆ 大田区実証実験・実装促進事業(HOIP)

区が抱える地域課題の解決に資する先進的な技術やソリューションを有するスタートアップ企業に対して、区内での実証実験を展開するための伴走支援を実施

<令和6年度の実施成果>

QR Translator

一つの二次元コードで多言語対応を可能とする特許技術
「QR Translator」を用いた情報発信強化

【環境清掃部清掃事業課(現:資源環境部ごみ減量推進課)】

- ✓ プラスチック分別回収制度の周知に「QR Translator」を導入し、新しい「プラスチック分別回収」に関するルールを15言語で案内



【区民部国保年金課】

- ✓ 国民健康保険料納入(変更)通知書に「QR Translator」を導入し、通知書の構成や見方を15言語で案内

成果

- ◆ 2つの部局の取り組みにおいて、合計で約240件、14言語で二次元コードの読み取りがあった。
- ◆ 言語カバー率(※)が96.1%から99.7%となった。

※ 言語カバー率とは、大田区内における利用言語に対する対応率をいう。日本語のみの案内の場合、言語カバー率は96.1%であったが、本実証にて15言語での対応を行ったところ、99.7%のカバー率となった。

RYDE PASS

アプリケーションを活用したコミュニティバス乗車券のデジタル化等の提案「RYDE PASS」

【まちづくり推進部都市計画課】

- ✓ モビリティプラットフォーム「RYDE PASS」を活用し、キャッシュレスでの回数券購入を可能とした
- ✓ デジタル化により取得できるデータの活用検討



(矢口特別出張所での周知活動の様子)

成果

- ◆ 13件の購入実績があり、うち3名がリピート購入であった。
- ◆ 70代の方からも購入があった。

SDGs推進に向けた主な取組(環境)

◆「カーボンニュートラルの実現」への行動変容の促進

区民の行動変容促進に向けた 省エネ機器等助成事業

- ✓ 家庭用燃料電池(エネファーム)の設置を助成
- ✓ 機器導入により家庭でのCO₂を削減

家庭用燃料電池(エネファーム)

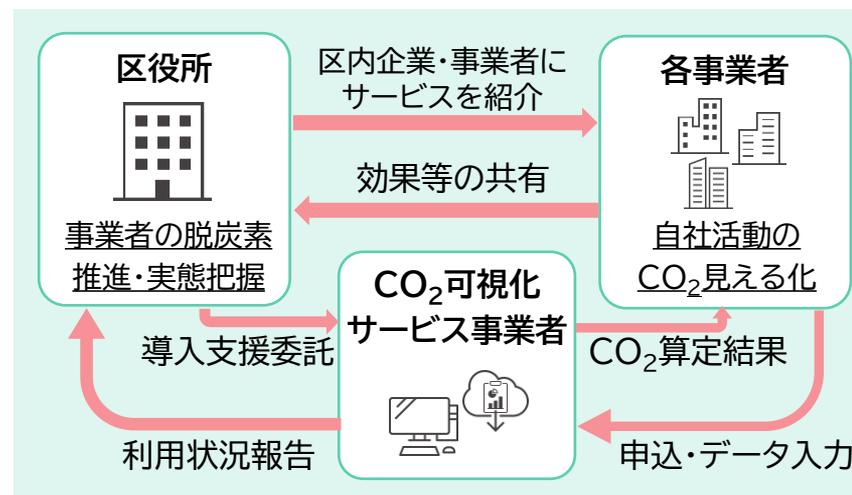
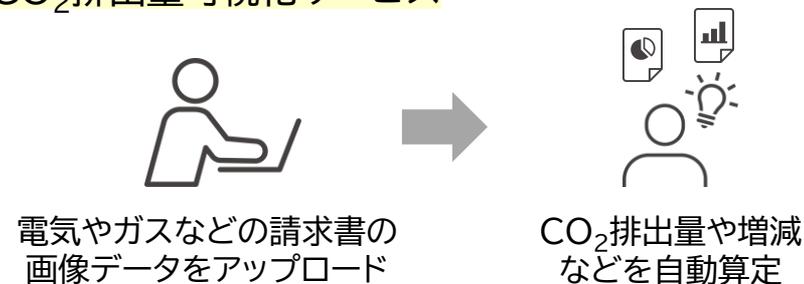
電気と一緒にお湯をつくれ、CO₂が削減できる省エネ機器



事業者の行動変容促進に向けた CO₂可視化システム導入支援事業

- ✓ 区内事業者に対し、CO₂排出量を簡易に「見える化」できるシステムの導入を支援

CO₂排出量可視化サービス



SDGs推進に向けた主な取組(環境)

◆「ボトル to ボトル」水平リサイクル事業・資源プラスチック回収事業

ペットボトルの「ボトル to ボトル」水平リサイクル事業

- ✓ 使用済みペットボトルを新たなペットボトルに再生する事業
- ✓ 大田区役所本庁舎1階で回収したペットボトルを、100%ペットボトルに再生
- ✓ 化石燃料からペットボトルを製造するのと比較して、約6割のCO₂を削減
- ✓ 区内外の事業者4者と連携して実証的に推進

<連携先>

- ・サントリーホールディングス株式会社
- ・サントリー食品インターナショナル株式会社
- ・株式会社寺岡精工
- ・J&T環境株式会社



本庁舎に設置したペットボトル減容回収機

資源プラスチック回収事業

- ✓ これまで可燃ごみとして収集していた廃プラスチックを資源として回収
- ✓ 令和7年4月から区内全域で展開
- ✓ 温室効果ガスの排出削減をはじめとした地球環境への負担軽減
- ✓ ごみの減量と最終処分場の延命化





区民向けSDGsワークショップの実施について

令和7年度に実施予定のワークショップ(案)

◆ 工場見学及び工場から出る廃材を活用したワークショップ

<目的>

- ・ 京浜島にある工場を見学し、大田区の「ものづくり」について学ぶ
- ・ 工場から出た廃材を使用してワークショップを実施し、アップサイクルを実践する

<場所>

大田区京浜島内の工場とアトリエ

<日程>

令和8年1月10日(土)、24日(土) (予定)

※上記以外に、区内で実施するイベントにて1回ワークショップを実施予定



1 SDGs推進に向けた区の実践

デジタルサイネージによる発信について

◆蒲田駅西口デジタルサイネージでの発信

- ✓ SDGsパンフレットに記載されている持続可能なまちづくりのために個人ができる取組の紹介

持続可能なまちづくりのために私たちができることは？
『フードロス削減しよう』



フードロス削減のために家庭でできること

- ・買い物前に冷蔵庫の食材を確認する
- ・適切に保存する
- ・食べきれぬ量を作る
- ・食材を上手に使い切る



SDGs 未来都市 大田区



◆本庁舎デジタル庁舎案内モニターでの発信

- ✓ SDGs未来都市 大田区のPR



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

内閣府認定
SDGs 未来都市
自治体SDGsモデル事業
W選定都市

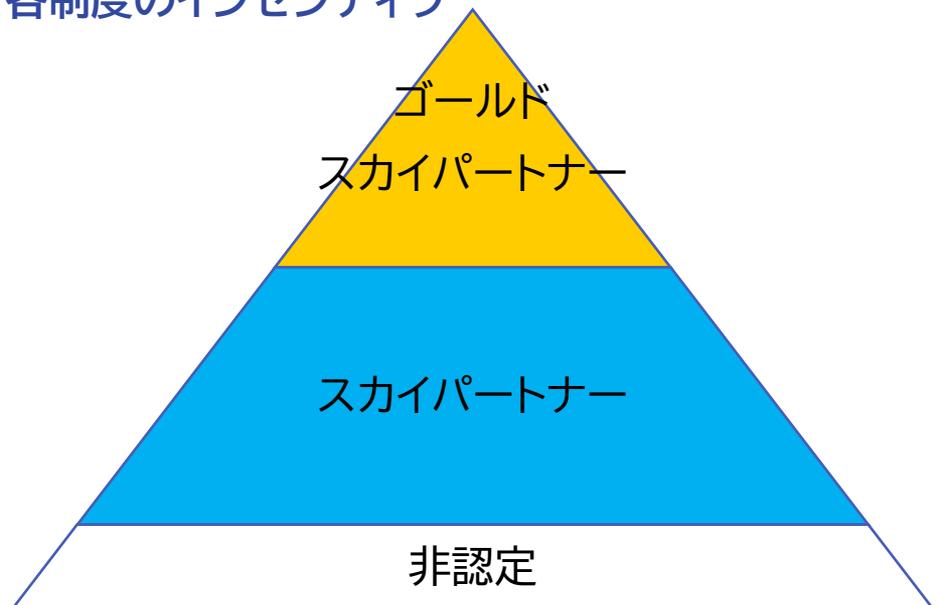


SDGsおおたスカイパートナーとSDGsおおたゴールドスカイパートナーについて

➤ 制度の種類



➤ 各制度のインセンティブ



- 「大田区公民連携SDGsプラットフォーム」との連携(情報発信・事業者間交流)
- 「総合評価落札方式」の加点
- 区融資制度「SDGs・脱炭素推進企業支援資金」の限度額拡大
- きらぼし銀行による新たな融資商品の提供
- 認定証の交付
- 区HPで事業者名、取組内容等公表
- 大田区オリジナルSDGsロゴマークの使用

1 SDGs推進に向けた区の取組

第2期SDGsおおたスカイパートナー・第1期SDGsおおたゴールドスカイパートナーの募集

- ◆ 申請期間
令和7年4月7日～令和7年5月30日
 - ◆ 認定期間
令和7年7月1日～令和10年6月30日(3年間)
 - ◆ 認定数
 - <第2期SDGsおおたスカイパートナー>
27事業者
 - 第1期SDGsおおたスカイパートナーとの合計
125事業者 (第1期:98事業者、第2期:27事業者)
 - <第1期SDGsおおたゴールドスカイパートナー>
47事業者
- ※24事業者がスカイパートナー・ゴールドスカイパートナー
両方に認定

持続可能な地域社会の実現を目指して

SDGs おおたスカイパートナー SDGs おおたゴールドスカイパートナー 募集のご案内

制度概要	<p>SDGsのおおたスカイパートナー</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGsの達成に向けて取り組む区内事業者を認定する制度です。 	<p>SDGsのおおたゴールドスカイパートナー</p> <ul style="list-style-type: none"> より積極的にSDGsに取り組む区内事業者を認定し、支援する制度です。
認定要件等	<ul style="list-style-type: none"> SDGsに取り組む意欲があり、申請要件を満たした区内事業者を認定します。 	<ul style="list-style-type: none"> 申請要件と認定要件チェックリストの認定基準を満たした区内事業者を認定します。 認定後は、年度ごとに取組状況の進捗報告が必要となります。 ※「SDGsおおたスカイパートナー」を経ずに「SDGsおおたゴールドスカイパートナー」を申請することも可能です。
認定のメリット	<p>●SDGsおおたスカイパートナー・SDGsおおたゴールドスカイパートナー共通●</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 認定証の交付 ■ 区HPIにて事業者名、取組内容等をPR 	
	<p>✦SDGsおおたゴールドスカイパートナー限定 ✦</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「大田区公民連携SDGsプラットフォーム」との連携 ■ 「総合評価落札方式」の加点 ■ 区中小企業融資あっせん制度「SDGs・脱炭素推進企業支援資金」の限度額拡大 認定により限度額が1,000万円→2,000万円に拡大します！ ■ きらぼし銀行「SDGsおおたゴールドスカイパートナー応援ローン」の利用 1年目については、所定の融資利率より0.1%優遇した固定金利を適用できます！ ※優遇期間経過後は、所定の変動金利が適用されます。 ※商品内容については、きらぼし銀行の融資窓口または担当者にお問い合わせください。 ※きらぼし銀行所定の審査の結果、ご希望に添いかねる場合もございますので予めご了承ください。 	

1 SDGs推進に向けた区の取組

第2期SDGsおおたスカイパートナー 認定結果

●第2期SDGsおおたスカイパートナー(27事業者)

赤土貿易	株式会社KMT	株式会社ニイズマックス
NPO法人アジア・太平洋まちづくり支援機構	合同会社GU経営総合事務所	株式会社西商店
株式会社アルテクナ	株式会社塩原製作所	株式会社日本政策金融公庫 大森支店
株式会社エース	ソレキア株式会社	日本調理機株式会社
株式会社荏原製作所 羽田事務所	ツチヤ産業株式会社	ピークスマーケティング株式会社
一般社団法人大田工業連合会	株式会社道道	ひらやま行政書士事務所
大森建設組合	東洋電熱株式会社	株式会社武甲製作所
KAORINO/カオリ乃	有限会社長島工業所	株式会社松浦製作所
共立信用組合	南信ビルサービス株式会社	村山鋼材株式会社



第1期SDGsおおたゴールドスカイパートナー 認定結果

●第1期SDGsおおたゴールドスカイパートナー(47事業者)

アットドウス株式会社★	株式会社北嶋絞製作所★	株式会社データ・テック★
有明興業株式会社	株式会社キタセツ	株式会社東京流通センター★
株式会社池田車框製作所	協和工業株式会社	株式会社トコシエ★
株式会社岩崎成型★	株式会社極東精機製作所	株式会社NAGAOKA
エコー電子工業株式会社★	株式会社金属被膜研究所	南信ビルサービス株式会社★
EBINAX株式会社★	株式会社ケイエスアイ	株式会社西尾硝子鏡工業所★
公益財団法人大田区産業振興協会★	香部興業株式会社	株式会社日本メンブレン
大田区廃棄物処理協同組合	黒光商事株式会社★	株式会社はとバス★
公益財団法人大田区文化振興協会★	株式会社こんの 東京営業所★	深田パーカラライジング株式会社
大田区緑化推進協議会	株式会社三栄精機工業	藤東造園建設株式会社
株式会社大田まちづくり公社★	株式会社三和産業	ムソー工業株式会社
大森造園建設株式会社★	株式会社城南サービス★	由布合成化学株式会社
岡高志行政書士事務所★	株式会社新興化学	株式会社リコー★
川崎重工業株式会社★	新星電工株式会社	リコージャパン株式会社★
株式会社気生堂印刷所★	株式会社SUIHO SPACE INNOVATIONS	株式会社リブワークス★
木田工業株式会社	株式会社ソフィアコミュニケーションズ	

※★:SDGsおおたスカイパートナーにも認定されている事業者

1 SDGs推進に向けた区の取組

第1期SDGsおおたゴールドスカイパートナー 事業者ロゴ

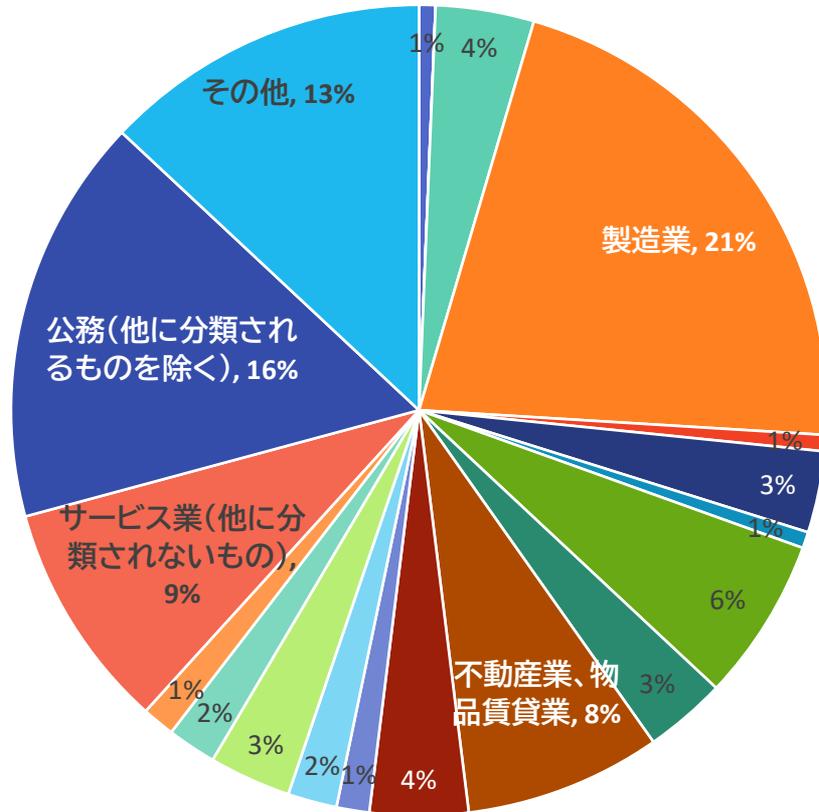
The image displays a collection of logos for various partner companies and organizations, arranged in a grid. The logos include:

- atDose**: The progress for next generation
- 有明興業株式会社** (ARIAKE KOUGYO CO., LTD.)
- IKEDA SHAKYO**
- IWASAKI SEIKEI**
- イー電子** (イー電子 人とみどりソリューション)
- eyinax**
- ip**
- Ō HAIKYO** (SINCE 1996)
- 大森造園建設株式会社**
- 岡高志** (行政書士事務所)
- Kawasaki**
- KISEIDO**
- KITAJIMA** (SHIBORI SEISAKUSYO CO., LTD. 株式会社北嶋絞製作所)
- キタセツ**
- KYOKUTOU** (Precision Manufacturer)
- 金属被膜研究所** (METAL COATING LAB. 株式会社)
- 株式会社 ケイエスアイ**
- 香部興業株式会社** (KOBE)
- 黒光商事** (学校給食のバイオニア)
- 株式会社 こんの** (新築にやさしいコロニー ~エゴからエコへ~)
- SANEI** (SANEI Precision Manufacturing)
- 新興化学** (PS)
- SUIHO SPACE**
- Sophia Communications** (ソフィアコミュニケーションズ)
- datatec** (データテック)
- TRC** (Tokyo Ryutsu Center)
- TOKOSHIE**
- NAGAOKA**
- NISHI** (モノづくりのカガミ)
- NM** (株式会社 日本メンブレン)
- HATO BUS**
- 藤東造園建設株式会社**
- MUSO**
- YUFU**
- RICOH** (リコージャパン株式会社)
- LIVVITX**

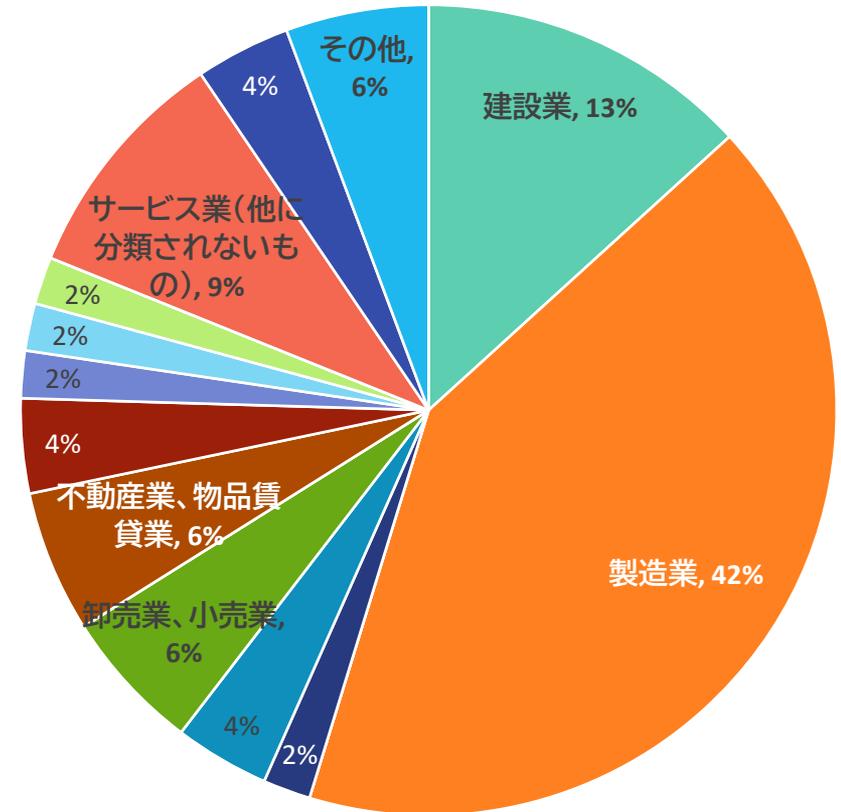
1 SDGs推進に向けた区の取組

SDGsおおたスカイパートナー・ゴールドスカイパートナーの業種

SDGsおおたスカイパートナー



SDGsおおたゴールドスカイパートナー



- 農業、林業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 卸売業、小売業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 教育、学習支援業
- サービス業(他に分類されないもの)

- 建設業
- 情報通信業
- 金融業、保険業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 医療、福祉
- 公務(他に分類されるものを除く)

- 製造業
- 運輸業、郵便業
- 不動産業、物品賃貸業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 複合サービス事業
- その他

1 SDGs推進に向けた区取組

SDGs認定制度 今後の予定

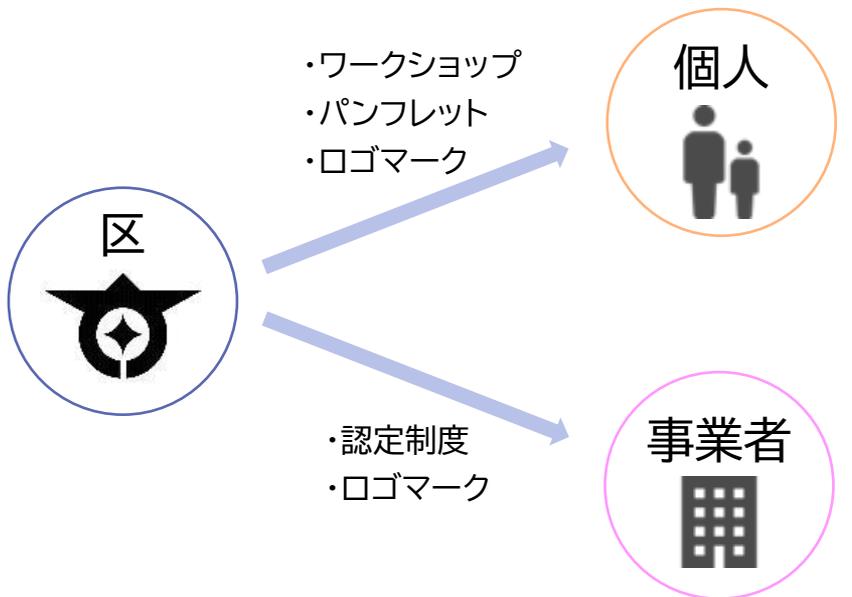
- 年2回の募集・認定を予定（認定期間:1月1日～・7月1日～）

		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
SDGsおおた スカイパートナー	第3期			募集期間			認定期間						
	第4期									募集期間			認定期間
SDGsおおた ゴールド スカイパートナー	第2期			募集期間			認定期間						
	第3期									募集期間			認定期間
その他						★							
						(仮)スカイパートナー向けイベント							

まとめ

これまで

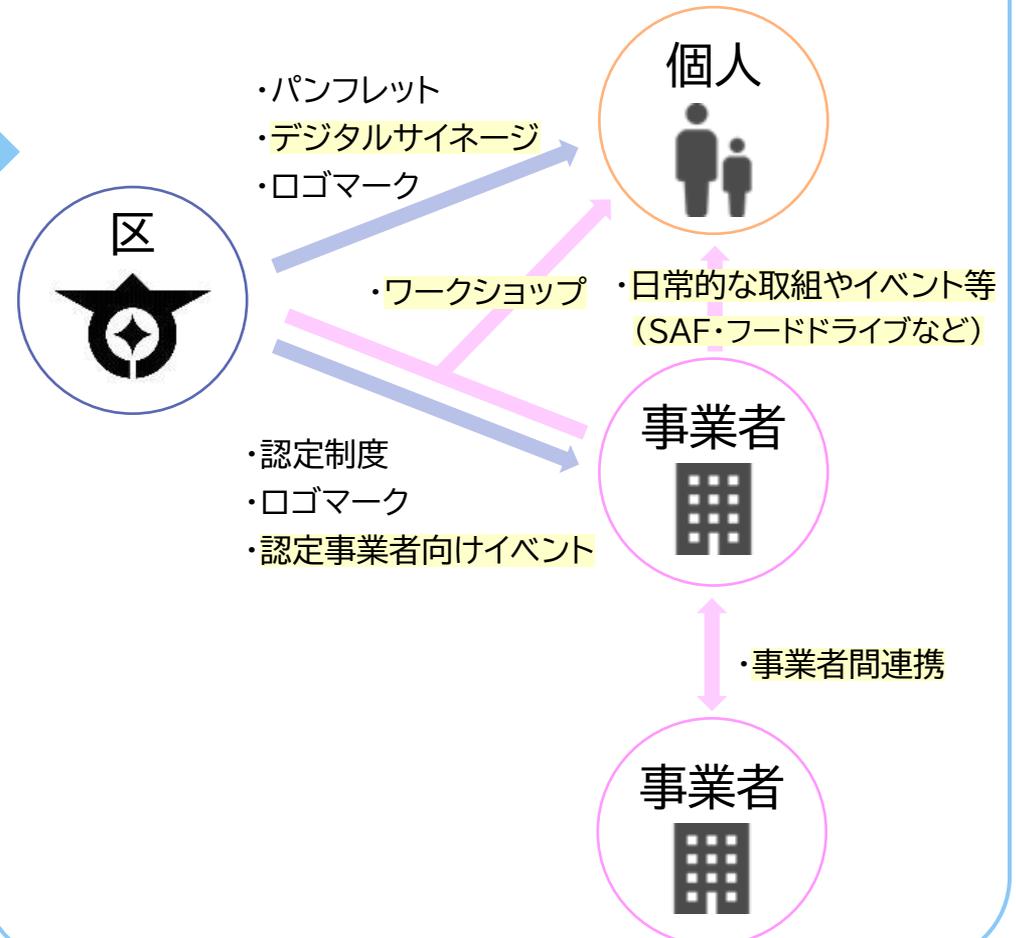
- 区から個人・事業者に対して広くSDGsを推進



- 成果** ✓ SDGsの認知度は90.8%に到達
- 課題** ✓ ワークショップは波及効果が小さい
✓ 継続的な行動変容が生まれにくい

これから

- 事業者と連携した取組や事業者間の連携など、多数の主体でSDGsを推進
- 区はSDGsが広がる仕組みづくりを推進



意見交換のポイント

■ 区の実組について

➤ 令和6年度、7年度の実組の例

- ・【経済・社会】産業のまち未来基金の創設・大田区ものづくり等人材確保のための奨学金返還支援事業
- ・【経済・社会】大田区実証実験・実装促進事業(HOIP)
- ・【環境】「カーボンニュートラルの実現」への行動変容の促進
- ・【環境】「ボトル to ボトル」水平リサイクル事業・資源プラスチック回収事業
- ・区民向けSDGsワークショップの実施
- ・デジタルサイネージによる発信
- ・SDGs認定制度(スカイパートナー・ゴールドスカイパートナー)

■ 今後の実組の方向性について

➤ 事業者と連携した実組や事業者間の連携について